

所属名	1. 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2. 令和3年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み
長岡市医師会	—	—
新潟県弁護士会	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、減少傾向にあった自殺者数が増加に転じたことが残念に思います。 ・進捗状況について、自殺対策と関係が近い部署ほど、達成度が低いように思われました。真摯に自己評価をしているか、過大な対応が要求されているのかの、いずれかが原因ではないかと考えました。 ・反町先生によるSOSの出し方教育が、非常に有意義に思われました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村でスト、外目には、兵庫県明石市、滋賀県野洲市、東京都足立区等が福祉分野における成功モデルケースに思われます。 ・福祉部門全体の底上げが、自殺対策につながると思います。いい所を真似していくことが重要だと思います。
長岡市薬剤師会	<p>資料1の「長岡市の自殺の現状」より、増加傾向にあることは理解致しました。 資料3より、「信頼できる大人が思い浮かばなかった」という生徒の意見は本心だと思いました。</p>	<p>令和3年度事業計画では、ゲートキーパー養成研修会の開催を予定していましたが、コロナウイルス感染症状況下においての開催は中止となりました。</p>
新潟県臨床心理士会	—	—
長岡地域病院ソーシャルワーカー連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・働き盛りの男性や高齢者(同居人有)の自殺者数や自殺死亡率は高く、市の重点施策は現状に適っていると思われる。重点施策の達成度については、職域層や若者を対象にした取組では高く、高齢者では達成度が高い事業が少なかったようなので、今後もより一層効果的に取り組んでほしい。 ・非常に多くの事業を実施されており、特に人材育成と相談体制に関する事業数は充実していると感じた。 ・多種多様な事業があるが、「包括的な支援として」「有機的な連携を強化して総合的に取り組む」等、計画の基本方針に沿った実施が重要と思われる。 	<p>取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関として、うつ病等精神疾患の入院・通院治療、患者さん・家族・関係機関からの相談、関係機関との連携。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺念慮や自殺未遂の患者さんに関する関係機関と病院とのスムーズな連携
新潟県高等学校長協会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1について、平成26年をピークに順調に減少してきていた市内の自殺者数が平成30年から増加してきた事が気になりました。 ・資料2について、様々な取組をされていることがわかりました。基本施策(2)自殺対策を支える人材育成 について、「ゲートキーパー研修」が至る所にあり、人材育成のための研修に力を入れていることがわかりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立学校では、県教育委員会生徒指導課作成の「新潟県自殺予防教育プログラム(高等学校編)改定版」を活用して全ての学年で自殺予防授業を行うことにしている。1年生対象には「SOSの出し方」、2年生対象には「友達から相談を受けたときの対応」をテーマに実施している。一方、教職員の中には、生徒から相談を受けたときにどのような対応をするべきが不安を抱く者がいることから、上記の授業を行う前に、「SOSの受け止め方」についての研修を行うようにしている。
長岡商工会議所	<p>R2年は芸能人の自殺により後追い自殺があったとも聞いているが、R3で女性の自殺者が激増しているのは何故か？ 当所ではコロナ禍で飲食店の店主など自殺された会員がいた。</p>	<p>当所では経営者を対象に事業継続に向けた国の給付金や補助金等の申請支援を行った。 また、労務・メンタルヘルス相談(無料相談メニュー)では、9件の相談のうち2件のメンタル不調者への対応に関する相談対応を行った。</p>

所属名	1. 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2. 令和3年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み
長岡市民生委員・児童委員協議会	<p>以前介護職をでした。担当した介護者の方達から言葉の攻撃を受けた際に眠れなくなり、精神的に不安定になりましたが、職場の上司から「どうした？いつものあなたの顔じゃないけど大丈夫か」と声をかけて頂いたり、職場全体にお祓いをする等私だけを目立たせないような配慮があり、少しずつ業務が継続できたことを感謝し、その事を今も心の中にしっかりと持ちながら民生委員の仕事をしています。</p> <p>やはり、何事も思いやりのある声掛け、寄り添う心を大切に心得ていきたいと思っています。</p>	<p>地域は高齢化、認知症の方の発症率が高いです。認知症の方は24時間、認知症の症状がある訳でなくふと気が付いたときに「私、何バカになっている？」と思い悩む方を見ってきました。私は常に民生委員の方々に常にアンテナを立て顔が見えたらやさしい心で声掛けを願う、と伝えていています。</p> <p>今はコロナ禍であり冬季間でも有る事から精神的に不安定になる方も多くいると思います。また、若者でひきこもりの方など、専門的な知識が必要な方が地域には多くいらっしゃいます。どのような対応が的確なのか、アドバイスを受けてたいです。</p>
NPO法人女のスペース・ながおか	<p>・資料1のデータから、相変わらず新潟県の自殺死亡率が高いことがわかる。市としても様々な対策をとっていると思うが、数値に反映されるまでには時間がかかると感じている。</p> <p>・身体疾患、病苦が自殺に繋がるケースの場合は、医療機関と繋がっているケースが多いと推察されるが、同居する家族と医療機関が心理的ケアについて話し合える場が増えれば、防止策に繋がる可能性があるのではないかと。現状、医療現場では自殺ハイリスク患者とその家族に対してどのような対策がとられているのか知りたいと思った。</p> <p>また、職域での自殺防止対策の取組についての調査も必要なのでは感じたが、現状はどのようなだろうか。</p> <p>・資料3「SOSの出し方に関する教育」については、授業実施前後で相談への意識変化が大きかったことから、今後も継続して実施すべき取組だと感じた。まずは誰かに相談してみるという意識が拡がるのが防止策の第一歩ではないかと感じている。</p>	<p>・当法人では、相談支援に係る業務全般が主な活動内容であるが、年々カウンセリングを主とする相談ケースが増えている。丁寧に傾聴しながら、その都度相談者にとって必要な支援は何かを考えながら、他機関との連携を図っている。また昨年度からは、内閣府パイロット事業としての取組において、生きづらさを抱える当事者への適切な支援を実践するための啓発講座として、トラウマインフォームドケアを軸とした支援者養成講座を開催。当法人における自殺予防の取組の一環と考える。</p> <p>今後は定住自立圏域との支援ネットワークをどのように構築していくかが課題となっている。</p>
長岡市社会福祉協議会	<p>学校授業の取組は有効と考えられ今後も広げていただけたらと思う。SNSなどで安易につながる関係性が原因で精神的に不安定になる若者も多い中、相談したい時に相談できる先が近くにあることを知るだけでも心の安定につながるのではないかと。</p>	<p>・ふれあい福祉相談(市民対象)</p> <p>○一般相談 実施は月～金 相談員と職員が対面及び電話で対応 (本部)月、水、金…相談員、火、木…職員対応 13:00～16:00 (支所)月～金…職員対応 相談内容によっては他の相談機関を紹介している(法律相談、司法書士や社会保険労務士等 専門職団体の相談、消費生活センター、こころの健康相談等)</p> <p>○法律相談 毎週火曜日予約制(1人30分予約制 対面のみ)会場:トモシア 13:00～16:00 今年度12月末までの件数は384件で、昨年同時期と比べて43件増えている。</p> <p>・特例措置生活福祉資金貸付制度 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等による収入の減少があり、生計維持が困難にある世帯を対象とする。緊急小口資金、総合支援資金の2種類がある。 長岡市内 相談件数6,532件 申請件数1,963件 申請金額633,822,000円(R4.1.21現在)</p> <p>・権利擁護支援課の相談 日常生活自立支援事業(県社協受託事業で本人との契約)日常生活上の金銭管理等の支援と成年後見制度に関する相談業務を実施。高齢者や障害者の現在支援が必要としている方、また将来の不安に対する心配等に対応している。今年度12月までの相談件数は約161件。コロナの影響か昨年同時期と比べ減少している。</p>

所属名	1. 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想	2. 令和3年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み
長岡労働基準監督署	長岡市においては、40～50歳代の男性・有職者の自殺件数が多いとのことで、引き続き連携して、職場における労働者のメンタルヘルス対策を推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。	厚生労働省では、「労働者の心の健康保持のための指針」に基づき、職場における労働者のメンタルヘルス対策を推進しています。当署においても、事業場を訪問した際に、リーフレット等を交付して説明を行うほか定期的にメンタルヘルス対策指導会を開催しています。
長岡警察署	市が取り組まれている相談窓口やコミュニティの充実に対し、そこに自殺企図者をつなげるための広報や関係機関との連携に努めていきます。	警察本部、警察署、交番、駐在所で相談受理した場合のほか、事件・事案・巡回連絡などの警察活動を通じて把握した場合において、助言・説得を行うと共に、関係機関の紹介及び同機関への情報提供・引継ぎに努めています。自殺企図事案を認知した際は、消防と連携して、現場での説得、制止、救助、救命等命を守る活動を実施しています。また、自殺企図者の行方不明事案に対しても、警察力を発揮した調査活動を実施して発見に努めています。なお、自殺予告など、インターネットへの書き込みを認知した際は、本部サイバー犯罪対策課と連携し、緊急的に書き込み者の特定に努め、自殺防止対策を実施しています。
長岡地域振興局健康福祉環境部	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年、3年は、コロナウイルス感染症の影響により、例年とは異なる状況にあります。特に長岡市で、令和2年に増加の見られた若い(20歳代)世代、令和3年に増加している30・40代と高齢期の女性について、分析等で傾向が判明したものがあれば、ぜひご教示願います。 12/27ながおかヘルシープラン21推進協議会にて、生活困窮者の相談が急増していると報告がありました。自殺予防の観点から、改めて生活困窮者対策について、長岡市としての課題と対応策をご教示ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 対策の方向性としては、自殺の多い世代や自殺ハイリスク者に焦点を絞り、特に広域調整が必要な分野や先駆的な分野、専門性が必要な分野についてネットワーク構築を意識しながら対策を進めていきたいと考えています。 「若年層」「働き盛り世代」「自殺未遂者等ハイリスク者」を重点課題とし、個別支援及び事業実施等地域全体への働きかけを行っています。 「働き盛り世代」及び「妊産婦」に係るメンタルヘルス対策に関しては、10/4の長岡市自殺対策連携会議において報告をさせていただきました。(詳細省略) その他の取組としては、近年増加傾向にある若年者対策として、高等学校卒業後の若者の状況が未把握だったことから、今年度新規事業として、管内大学や専門学校との連携構築を行っています。 2/22に「学校と地域の支援機関の連携による学生のメンタルヘルス対策意見交換会」を開催予定です。 また、自殺ハイリスクである自殺未遂者や遺族への支援としては、関係機関と協働し個別対応を行うとともに、管内市町とともに事例検討や、対応方法を学ぶ研修会等を開催しています。
中越地域いのちのこころの支援センター		
新潟青陵大学	—	特になし(通常の学生相談業務を継続中)
長岡大学	—	—